モニタリングサイト1000第2期とりまとめについて

環境省自然環境局生物多様性センター　生態系監視科、保全科

◆はじめに

モニタリングサイト1000（正式名称「重要生態系監視地域モニタリング推進事業」）は、平成14年3月に閣議決定された生物多様性国家戦略に基づき平成15年度から開始した事業で、わが国の代表的な生態系の状態を長期的かつ定量的にモニタリングすることを目的としています。

モニタリングサイト1000では5年ごとを調査期間の区切りとして調査成果をとりまとめています。すでに事業開始から10年を経過しており、各生態系の調査で得られたこれまでの成果を生態系ごとにとりまとめ、2期とりまとめ報告書として順次公表しているところです。

ここではいくつかの生態系のとりまとめ結果について紹介します。

各調査の概要とサイト数

平成26年4月1日現在

分類		調査サイト	調査内容概要	サイト数（箇所）	調査担当者
陸水域			1.植生 2.鳥類調査（ハス田、ヨシ原、河川敷、湖沼、ハマナガ鳥類調査、魚類調査）3.底生動物調査（ダンマ類、地蔵）4.両生類調査	5	研究者
沿岸域・干潟		1.ブナ（毎年調査）	1.植生 2.鳥類調査 3.魚類調査 4.底生動物調査 5.両生類調査 6.哺乳類調査	20	研究者
		2.ハマ（5年毎に調査）	1.植生 2.鳥類調査 3.魚類調査 4.底生動物調査 5.両生類調査	20	研究者
		3.ヒガ（毎年調査）	1.植生 2.鳥類調査 3.魚類調査 4.底生動物調査	40	研究者
里地		1.ブナ	1.ムラ内 2.ハ・ケ・ヤ・ヨ・ハ・ケ・ヤ・ヨ・ハ・ケ・ヤ・ヨ・